

<図書紹介>

長谷川 直子 編

『今こそ学ぼう 地理の基本』

(山川出版社 2018年8月 176ページ 本体 1,800 +税)

中 村 光 貴*

本書は、とくに中等教育段階で扱われる地理の内容について記した、一般読者を想定にも入れた教員向け手引き書である。写真や図版・イラスト等をフルカラーで多用し、できるだけ平易な文章で著されている。またそれだけではなく、地理教育の現状、「地理的な見方・考え方」について、高等学校新学習指導要領で必修科目となる「地理総合」の解説もなされている。

本書のポイントとなるのは、社会科・地理歴史科教員が地理を教える際に敬遠しがちな、自然地理（地形や気候）、地図（地図投影法やGIS）に関する部分につ

いてページを割いている点であろう。理科や数学的な思考が必要になるために理解しづらいと考えられる部分について、数式等を一切用いずに、写真や図版を多用して、概念的に理解できるように工夫がなされている。また、地学分野にまたがる内容も取り入れて、自然環境のメカニズムの解説についても同様の配慮がなされている。章末にある関連コラムや、巻末の参考文献リストは教材研究の力強い助けになる。地理を初めて・久しぶりに担当される予定の先生のみならず、地理専門の先生にもぜひご一読をお薦めしたい。

<図書紹介>

国際地理オリンピック日本委員会実行委員会 編

『地理オリンピックへの招待 公式ガイドブック・問題集』

(古今書院 2018年8月 142ページ 本体 2,400円+税)

中 村 光 貴*

一般に「地理オリンピック」というと「どのようなオリンピック？」と疑問を持たれる方も多いのではないだろうか。もちろん、国名や地名をどれだけ知っているかを競うものではない。地理的知識に基づいた思考やスキルを用い、地域の特徴を見抜く力と、それを的確に地図化し言葉で表現する力などを競い合う大会で、国際科学オリンピックの一つとなっている。

本書は、「国際地理オリンピック (iGeo)」の紹介、iGeoの選抜大会を兼ねる「科学地理オリンピック日本選手権 (日本選手権)」の参加方法ガイダンス、3次試験まで行われる日本選手権で過去に使用された問題 (マルチメディアテスト [選択肢問題]、記述式テスト、フィールドワークテスト) を厳選し、解説を加え

た問題集で編まれている。なお、日本選手権の問題はiGeoに準拠しており、成績優秀者が金、銀、銅メダリストとして表彰されるとともにiGeo日本代表4名が選抜される。そのため、地理オリンピックへの参加を考えている高校生が身近にいる場合には、本書を是非お薦めしていただきたい。

地理オリンピック開催のねらいに、地理的な素養を用いて、持続可能な社会を広い視点から考え、協力して行動できる人間の育成がある。これは、日本の新学習指導要領の地理とも関連しあっているといえるだろう。今後の地理教育が目指す姿を知る手がかりとして、本書を多くの方に活用していただきたい。

*筑波大学附属高等学校